



はなあかり



満開の桜があたりを明るく照らすこと。
 昼の間に太陽を浴びていた桜が、夜月では自ら発行しているかのように見えるような、そんな気がするほど薄桃色の花びらからは太陽のパワーを感じます。
 畑のねぎたちも天までからのパワーを蓄え中。
 花も畑も、イキイキとしている様子。
 自然のパワーがみなぎっているのを感じます。

穏やかな空模様と
 時々恵みの雨。
 健やかに育って来てい
 畑の様子を見れば日々
 感謝しています。



冬を越したトンネル資材を回収し、春のあたたかな日差しを一杯浴びた畑のねぎたちが気持ち良さそうに見え、春の陽気もよいしょして、こちらも嬉しくなります。

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます
 ことねぎだより

NO.167

2021年4月号
TEL: 075-601-0668



KOTO GROUP
4A



今月のことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

葱坊主に備えて作った、春葱のお届け

主に、11月に京都市内で定植したねぎのお届けになります。

4月は葱坊主が出やすい季節。例年通り、葱坊主ができないように（食感が固くなってしまいうので）定植時期をギリギリまで遅らせました。葱坊主は、寒さを越える時のねぎの大きさに影響されるので、小さなねぎで冬を越させるためです。ただ、定植直後に寒さに負けて苗がダメになったり、春までに成長が間に合わないリスクもあります。特に、今年の冬は昨年までと異なり寒い冬になったので、より丁寧に管理作業を行いました。自慢の春葱、ご賞味ください！



大切な畑の土作り！どんどんと耕起・畝立てしていきます！

農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信

春は夏の準備の始まり！夏季の美味しいねぎ作りを

春先は、収穫以外にも畝立て・定植と夏に向けての準備を同時進行で進めています。今年、新たに4名の農人が「社員農家」としてデビューする年です。先輩に作業段取りの組み方や農薬の選定などを教わりながら、任せられた圃場を責任を持って管理栽培して「味と品質にこだわった美味しいねぎ作り」を行っていきます。7月頃には、彼らの最初のねぎを皆様にお届けできる予定です！仲間としても、夏の楽しみの一つができました。

アシストスーツ装着テスト

収穫時に腰を屈めて作業をしていると身体にかかる負荷。

少しでも軽減する為のアシストスーツを導入しました！姿勢の悪化を防ぎ、身体の健康維持にもなるようですね。

締めまりが凄い！



アシストスーツ、最初は装着だけで難しいこと...
 スーツの装着に慣れるまではアシストが必要になります（汗）



これから広がるねぎ畑の景色が楽しみです。

京丹後に新たな農場

年々、夏場の高温で京都市内での生産が難しくなり、夏季の生産量を確保できるよう「海の京都」と言われる丹後地域に産地が増えることになりました！頼もしい3人の仲間たちが夏場に向けて奮闘していきます！



新たな産地で頑張ります！